

# 奔潮

## 関西の目指す10年後の姿

### ～近畿圏広域地方計画の決定について～

大阪府政策企画部企画室  
牧野 剛士

#### はじめに

平成21年8月4日、概ね10年後の関西のめざす姿を示す、「近畿圏広域地方計画」が、国土交通大臣によって決定されました。この計画は、全国8つの広域ブロック計画のうちの一つで、全国計画と合わせて国土形成計画が構成されます。平成17年7月の国土形成計画法制定後に初めて策定された計画で、国土の利用・整備・保全を推進するための総合的かつ基本的な計画です。旧法に基づき制定されていた全国総合開発計画との違いとしては、①「開発基調」から「国土の質的向上」への転換、②地方公共団体からの「計画提案」制度、パブリックコメント制度の創設、③広域地方計画の創設（全国8ブロック単位）が主な特徴となっています。

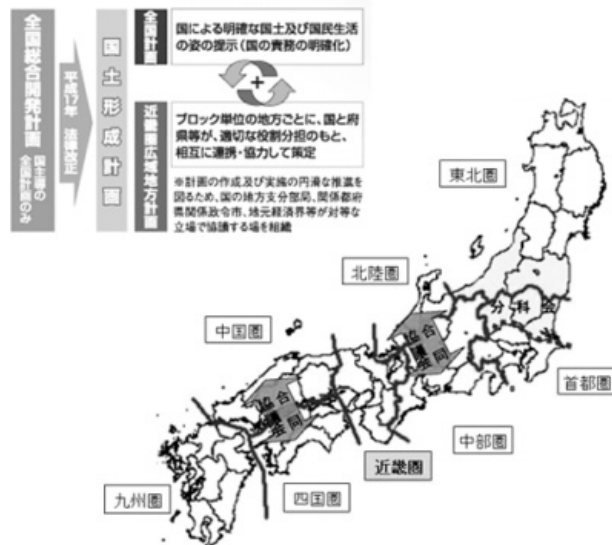
また、計画中の目指す姿の実現、戦略の実行にあたって大きな柱となるのが、「新たな公」という概念です。多様な主体が参画・協働して、地域住民の生

活を支え、地域活力を維持する機能を果たしていくことを目指し、地縁型コミュニティ・NPO・企業・行政等の協働による地域居住環境の整備、地域の発意・活動による地域資源の発掘・活用等、様々な取組が進められることが期待されています。

#### 検討経過

広域地方計画の検討にあたっては、平成18年12月に事前検討組織として「近畿圏広域計画検討会議」が設置され、検討会議に加えて幹事会などで、全国計画の検討と併行して議論が重ねられました。また、全国計画が閣議決定後の平成20年8月からは、同検討会議は、法定組織である「近畿圏広域地方計画協議会」へと改編され、議論を深めました。

同協議会は、関西の府県（福井・三重・徳島を含む）および政令市、近隣府県（岐阜・岡山・鳥取）、経済団体、関西の国出先15機関、関西広域機構、近畿市長会等で構成され、秋山関西広域機構会長（前関西



(プロジェクトの例：大阪湾バイエリア再生プロジェクト)

連会長) が会長を務めてられました。計画決定までの間には、検討会議や協議会の議論だけでなく、学識者会議での意見聴取や、市町村からの意見聴取、パブリックコメントなども実施されました。なお、原案に対する市町村説明会に府内からは16市町村が参加され、法定の「市町村意見の提案」では8市町村から提案がありました。

## 計画の内容

計画は「知と文化を誇り力強く躍動する関西」をキャッチフレーズに、全5部構成となっており、1. 関西の現状と課題、2. 関西の目指す姿、3. 目指す姿を実現するための戦略、4. 主要プロジェクト、5. 計画の効果的推進で構成されています。特に4. の主要プロジェクトでは、ソフト・ハード両面の具体的な取組による広域的な効果の発現につなげるため、関西の特徴を踏まえた独自性の高い取組、新たな取組、および高い施策効果が見込まれる取組で、共通の目的で施策や事業等を括ることができるものを中心に、「大阪湾バイエリア再生プロジェクト」「広域物流ネットワークプロジェクト」「水と緑の広域ネットワークプロジェクト」など11のプロジェクトが掲げられています。



## 広域地方計画への府意見の反映

広域地方計画の策定にあたって、大阪府からは、わが国の発展を図る上で関西の役割を明確に位置付け、その上で関西国際空港の国際競争力の向上や国際物流機能の強化に取組むべき、新名神高速道路を

はじめとするミッシングリンクの解消など広域的なインフラ整備を行うべき、また、大阪湾バイエリアは全体像を示すべきなど、単に大阪府だけでなく、広く関西広域を捉え、関西のより一層の飛躍に向けた様々な意見を述べてきました。さらには、大阪ミュージアム構想の取組のような、既存資源を発掘・再発見し、磨き、際立たせ、それらを結びつけて発信する地域魅力づくりの推進などの意見を主張してきました。

また、原案とりまとめに際しては、平成20年6月2日の近畿ブロック知事会において、10府県の知事が議論し、道路・鉄道などの将来像を一致してとりまとめた「広域インフラグランドデザイン」を計画に反映するよう強く求め、一定の反映をみたところ です。

## 他計画との関連

広域地方計画の決定に併せて、「近畿ブロックの社会資本重点整備方針」も策定されました。これは、広域地方計画で示された将来像や戦略を実現するための社会資本整備の具体的な方針を示すものです。両者は、今後の関西を形づくっていく上で根幹となる、まさに「車の両輪」となって機能するものとなっています。

## おわりに

今回、国がとりまとめた広域地方計画および社会資本重点方針において、広域インフラグランドデザインの内容が一定反映されたことを評価するとともに、今後、計画に示された新名神高速道路などのミッシングリンクの解消や、関西国際空港の国際競争力の確保に向けた取組が、関係機関の適切な役割分担のもとで着実に進展するよう、府としても計画のモニタリングやチェック等を進めていきます。

近畿地方整備局「広域地方計画」

<http://www.kkr.mlit.go.jp/kokudokeikaku/kouiki/kettei/090804.html>